

## 100冊の本を読むよりも、良い本を100回読む

『100の基本』松浦弥太郎のベーシックノートより抜粋

松浦弥太郎

「100の基本」松浦弥太郎のベーシックノートには、  
次のように書かれています。

次から次へと数をこなし『こんなに本を読みました』と  
言ったところでいったい何が学べたのでしょうか？

残るものは「100冊の本を読んだ」という記録だけだと感じます。

私の部屋にはたくさん本があります。欲しいと思ったら買うので、いまや本棚にも  
収まりきらずいろんな種類の本が床の上にも積まれています。

もう読まないとわかっていても高額な本はなかなか手放すことができません。

良い本はたくさんあると思います。私も何度も何度も読む本が数冊あります。

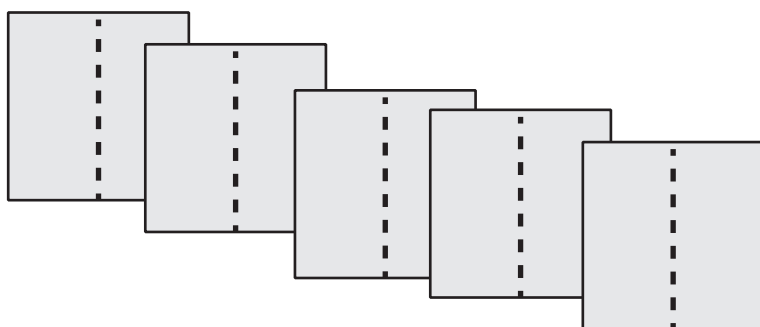
何度読んでもそれらの本からは得るものがあります。

**独りの珈琲 増田れい子著**は、もう何度読んだかわかりません。日本語が美しい本です。  
憲法のこともこう書かれています。

第九条は『国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、  
国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。前項の目的を  
達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない』と定めています。

憲法の中の、最も澄んだ目の部分として。私はこの条項を、記憶し、いとんでいます。

十一条では『国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に  
保有する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の  
国民に与えられる』と記されていますが、九条と十一条はそのまま一枚の布の  
表と裏の関係になっていると思います。



Shoko